

用・排水対策 調査特別委員会

七月十五日開催

排水対策について

〔現地視察〕 蒲田津排水機

場等七カ所の現地視察を行った後、水防体制に入っている防災室にて、現状や連絡体制等を視察した。

〔説明〕 六月二十九日に開催した佐賀市浸水対策検討委員会において、平成二十

二年度雨季浸水対策の確認をおこなった。

〔質問〕 水門等の現地視察を行ったが、大雨時の操作について、地元との調整はしているのか。

〔答弁〕 そのときの事情に応じて調整しており、勝手に操作をすることはできない。地元や関係団体の了解を得ながらの活動になる。

〔質問〕 七月十四日の大雨時に枝吉水門は最高水位に開けて放水したが、尾の島水

門は最高水位に開けなかったとのことだが、尾の島水門も同じく二層開けて排水できなかったのか。

〔答弁〕 尾の島水門から排水される新川には、十二カ所の排水樋門があるが、逆流防止のフラップゲートがついておらず、いったん新川の水位を上げると逆流してしまうおそれがあり、大変厳しい状況となっている。

〔質問〕 そのような状況で

あれば、各樋門へのフラップゲートの設置を県に要望していくべきではないか。

〔答弁〕 この件については、地元の関係団体から、長年にわたって要望を続けられてきた結果、ことしに入ってから、順次フラップゲートを付けていくという回答を県から聞いている。ただ十二カ所を一度につけることはできないので、数年に分けて設置していく予定とのことである。

〔質問〕 佐賀城のお濠の水位を幾らかでも下げれば、相当な調整池の機能を果たすと思うがどうか。

〔答弁〕 お濠の通常水位から、その上に水をため込んで一時貯留ができないかという考え方で実験しており、七万ト程度の水を一時的に貯めることができる試算している。現在は、土のうで仮締め切りをして実験しているが、有効に機能する



佐賀江川

特別委員会

交通政策 調査特別委員会

七月十三日開催

五月十日、十七日の市北部バス利用実態調査の報告について

富士方面、三瀬方面それぞれにおける各バス停の乗降者数、上屋やベンチの整備状況等の報告に加え、川上峡以北では自由に降車できることや三瀬診療所の通院者の約九割が三瀬巡回バ

今後の調査について

市南部調査の班編成、調査対象路線の確定等を協議

スを利用していただことなどの現状が報告された。利用は少ない状況だが、その中でも高齢者などの交通弱者の利用が多く、この実態を考慮すればバスを無くすわけにはいかない。バス事業者、佐賀市、利用する地元三者で運用の検討が必要との意見があった。

七月二十日から二十二日までのバス利用実態調査

四班体制での市南部バス利用実態調査を実施。



市営バス

八月九日開催

市南部バス利用実態調査の報告について

各班から調査の概略、乗

降者の推移、上屋等の整備状況や六十二名の利用者の「生の声」及び調査後の委員間討議内容などが報告。

その後、市北部及び南部の実態調査を踏まえた執行部に対する質疑を行った。

〔質問〕 各バス停の上屋や設置されているが、今後の展開は

設置の基準及び今後の取り組みの考えは。

〔答弁〕 乗降客の数や道路占有許可の可否等の観点か

ら設置。今後は高齢者の利用数なども考慮したい。

〔質問〕 今年初めて夏休み限定の中高生を対象とした「ノリのりきつぷ」を販売しているが、今後の展開は

〔答弁〕 来年も実施するか等も含め、利用増のための検討をしたい。

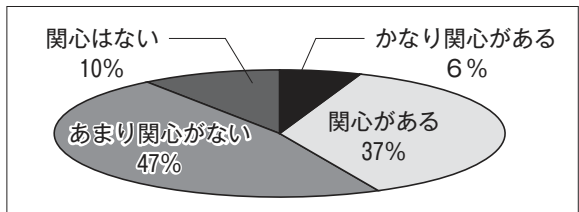
今後も、市中部地域のバス利用実態調査を進め、公共交通における課題の抽出を行っていく。

アンケート 集約結果

さが市議会だより21号で皆さまにお願いしたアンケートには、187件の回答をいただきました。集約内容は以下のとおりとなっています。皆さまからいただいた貴重なご意見を活かし、より親しまれやすい議会だより、広報に心がけることはもちろん、議会としての役割と責任を果たしていきたいと考えています。ご協力ありがとうございました。

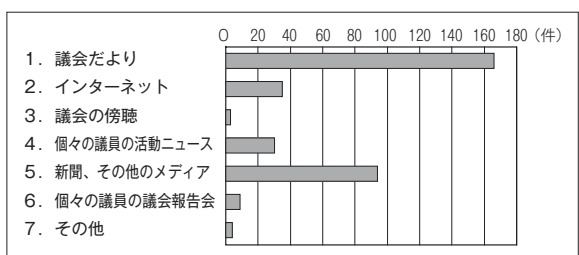
Q1：選挙のあとも、日常的に市議会に関心をよせておられますか？

「かなり関心がある」、「関心がある」の合計が43%、「あまり関心がない」「関心はない」の合計が57%で、日常の市議会には関心が無いという方が半数以上を占めている。



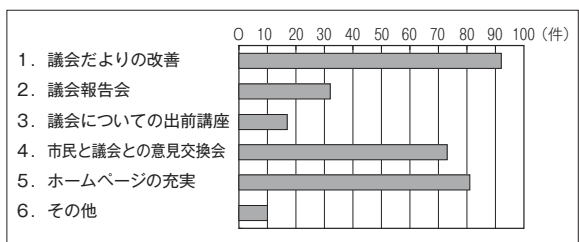
Q2：あなたが市議会についての情報をえられる手段は？（いくつでも○を）

市議会についての情報を得ているのは「議会だより」が最も多く、次いで、「新聞、その他メディア」、「インターネット」の順となっている。その他には「ぶんぶんテレビの中継」という回答が2件あった。



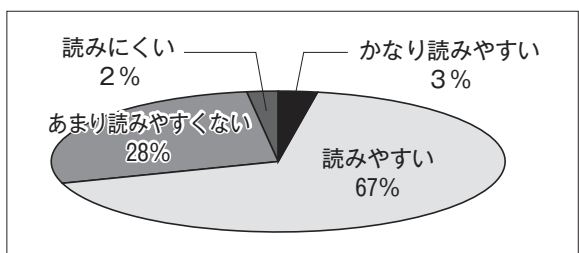
Q3：あなたが市議会の情報をえるために、今後、充実すべきと思われることは？（2つまでに○を）

「議会だよりの改善」「ホームページの充実」など、情報の伝え方の充実を求める回答が多かった。また、「議会報告会」「議会についての出前講座」「市民と議会との意見交換会」など、議会側が市民の元へ出向いての情報伝達を求める回答もあった。その他では、「メディアを活用した情報伝達」「休日の議会開催」などの回答があった。



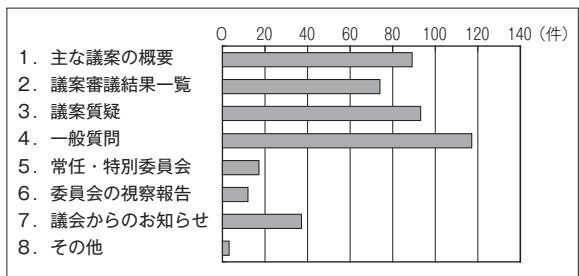
Q4：さが市議会だより（3月議会号・5月中旬市内全戸配布）についておたずねします。市議会だよりは読みやすいですか？（回答方法：単一選択形式）

「かなり読みやすい」「読みやすい」の合計が70%で、「あまり読みやしくない」「読みにくい」の30%を上回った。読みにくい理由としては「文字が多い」との回答が最も多く、簡潔な表現や、レイアウトの工夫などを求める回答も目立った。一方で、簡潔すぎて内容がわからないとの回答もあった。



Q5：市議会だよりで関心があるページは？（おもに3つに○を）

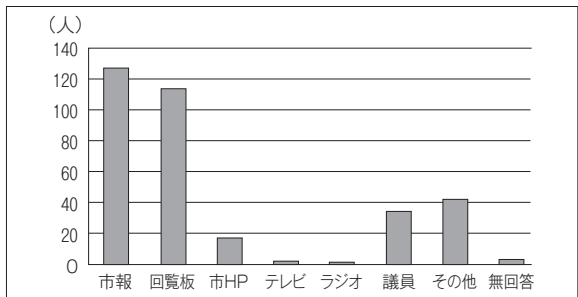
「一般質問」「議案質疑」「主な議案の概要」が多く、議会において、議員がどのような質問を行っているのか、議会においてどのような議案が上程され、どのような議論が行われているかに関心が高い。その他には、関心のあるページがないとの回答もあった。



Q6：市議会および市議会だよりにのぞむことは何ですか？

市議会にのぞむこと22件、市議会だよりにのぞむこと82件が寄せられた。市議会にのぞむことは、「議会や議員の活動が見えない」といった意見が多く、市民の意見を十分反映する議会運営をのぞむ声が多かった。市議会だよりにのぞむことは「文字数が多くて読む気になれない」「写真や図表を多く使って分かりやすく」「こどもでも読めるように」「専門用語を使わないように」など分かりやすい紙面づくりをのぞむ声が多かった。また、「審議内容だけを載せるのではなく、現在の問題点や、市民に身近な話題も載せてほしい」などの意見もあった。

「議会報告会：市民と語る会」の報告



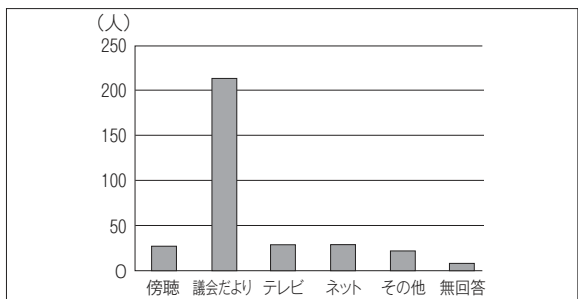
この報告会をどうやって知りましたか

5月9日から23日にかけて、市内16カ所の中学校校区において、「議会報告会並びに市民との意見交換会」を開催いたしました。

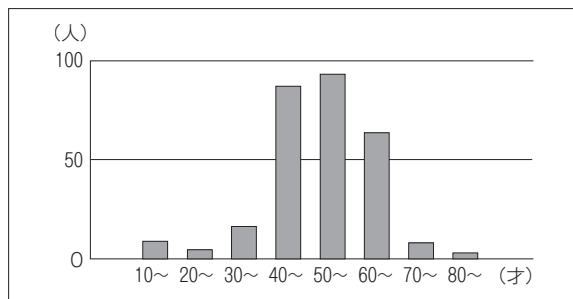
初めての開催でしたが、総数404名の市民の方々が会場にお越しいただきました。

そのうち288名の方がアンケートにお答えくださいました。

アンケートの結果と会場で寄せられたご意見をお知らせします。



議会の情報をどうやって知りますか



参加者の年齢

アンケートのご意見

- 小学校校区での開催を
お願いしたい。
- 昼間は参加できないの
で、夜間開催を。
- 会場の周知方法に工夫
をしてほしい。
- メモを取るなどの机の
設置を望む。
- 今後も定期的開催し、
市民の声を聞いてほしい。
- 超党派の構成は良い。
- 質疑や意見交換の時間
をもっととってほしい。
- 行政用語を使わない、わか
りやすい説明をしてほしい。
- 出席議員は名札を付け
てほしい。
- 参加型の報告会にして
ほしい。
- 地域の実情を勘案して、
開催時期については考慮
がほしい。
- 議会内部で議論された
ことの報告は良かった。

その他、地元議員の参加
については賛否両論があり
ました。

意見交換会の中で 寄せられたご意見

議会常任委員会の区分に
従って整理いたしました。

総務委員会関係

- ◆地域内である行事は、支
所を通じて住民に知らせ
てほしい。
- ◆宅地開発で戸数は増え
たが、自治会、区役に協
力してくれない。
- ◆本当の市民サービスを
してほしい。まなざし運
動、ごみの減量化などで
笛を吹いているが下が動
いていないではないか。
- ◆市の職員が本気にならな
ければいけないのではな
いか。
- ◆交通局に一億五千万円
毎年投入。これまでの赤
字の原因は何なのか、責
任の所在はどこにあるの
か。なぜこうなったのか。
- ◆交通政策で、市営バスの
利用促進のためにも原則
マイカー規制を考えては
どうか。
- ◆当初予算を見ると平成
二十二年は八百二十五億
円に対し市債が九百六億
円あるが、市の財政状況
はどうなのか。
- ◆国では事業仕分けがな
されているが、市の予算
削減についての考え方は、
市役所職員の天降りはな
いのか。市の臨時職員の
報酬チェックはなされて
いるのか。
- ◆市債が多い中で、市独自
の事業仕分けが必要だと
思うが現状はどうなのか。
- ◆蓮池校区は、六百六十三
世帯千八百四十三人と
減っている。都市計画で
市街化調整区域となつて
いるが、人口定住策を講
じてほしい。
- ◆支所の機能について。
合併後毎年職員数が減つ
ているが、いつかはなく
なるのではないかと心配
している。
- ◆合併によってよくなつ
ていないし、課ばかり増
えて対応する所がわから

ない。必ずしもよくなつたとは言えない。

◆地デジ対策の内容が知りたい。

◆春日小北、北原地区の難視聴地区でケーブルテレビが、見ることができるようになるのとこのことであつたが、一向に進まない。県の調査も数回あつたが、いまだによく映らない。

◆蓮池もぶんぶんテレビが見られるようになるのか。

◆税の納付は、十一月までに四期分を納めるのが年金生活者は困難だ。実情を酌んで三月までに納入可能にしてほしい。

◆合併で税金が上がつた。特に固定資産税が上昇したが、都市計画税が地域に還元されているのか。路線価格が上がっていないのに評価額が上がつたのはどうしてなのか。

◆固定資産税に関して、非課税のところもある中で生活保護以下の所得しか

ないのに課税することについて検討してほしい。

◆厳しい財政の中で、無駄を省く努力が必要と思うが、一つの例として固定資産税の納付書が土地と建物と別個にくる、一緒にできると思うので、こういうところにも無駄があるように思うが。

◆固定資産税の減免を時的限的でもしてほしい。



佐賀市立図書館でのようす（5月9日）

文教福祉委員会関係

◆教育問題で不登校に対する取り組みはどうなっているか。四十人学級をもっと少人数学級にしていくべきではないか。

◆芙蓉小・中学校は全部で九クラス百五十七名であり、これでやれるのか、適正規模といえるのか。特認校になつているが、校区外からの通学にはバス代がかかるので、何とかならないか。

◆中学校の給食については、保護者等の意見の集約はされたのか。

◆給食費の未納はどうなつているのか。

◆給食費をPTAで徴収できないか。

◆中学校給食、鳥栖市は注文数が足りず、税金投入している。佐賀市は大丈夫か。

◆ゆめぼけっと、児童センターなどの施設を周辺部にもつくつてほしい。

た講堂をつないでいるが雨漏りがして困っている。

◆公民館問題で、今は川副全体で使っているが、職員が館長を兼務している。専任の館長を置いてほしい。

◆南川副公民館建設について、市町村合併で、庁舎の空き部屋がかなり出ている。その活用は考えられないのか。

◆生活保護費受給者に関するチェックはどうなつているのか。明らかに不正受給者と思える者がいる。申請者のチェックのあり方を問いただしてほしい。

◆子宮頸がんワクチンの公費助成をしてほしい。

◆介護保険の介護度の判定が書類だけでされているようだ。実態と違う結果になつていて困っている人がいるようだ。そんなことにならないようお願いしたい。

◆高齢者医療、あるいは福祉に關して、高齢者の

方々が生きがいを持つて心豊かに暮らせる施策を考えてほしい。



経済企業委員会関係

◆ハローワークを白山に誘致したが、失業者が買物をするとは思えないし、公務員の職員もなかなか買物などしない。活性化につながると思えない。議会での審議はしっかりやってもらいたい。

◆街なかを歩くときに、少しでも休める場所としてベンチがあると助かる。

◆工業団地が大和町福田地区に決定され期待している。今後の取り組みに

についても情報公開してほしい。

◆熱気球大会開催事業について、交通渋滞の議論はなかったのか。交通渋滞の対策はあつたのか。議会として対案等議論はされたのか。

◆市営バスの今回の予算について、乗車人数増のため、市職員や県職員が率先してバスに乗らねばならないが、そういった運動はしているのか。とにかく、バスを利用してもらうとする努力が足りないのではないか。

◆今、市営バスが運行しているが、大型バスに二、三人の状態なので、小型の巡回バスへの変更は出来ないか。

◆CO₂削減など環境のことを考え、公共交通機関のバスをもっと利用できるようにPRしてほしい。

◆クレーク・水路の水草除去は、機械に頼らざるを得ない状況。それできないところは人力作業に



本庄公民館でのようす（5月15日）

建設環境委員会関係

なり、かなりきつい。のり落ち対策の補助申請についてはどうなるのか。

◆農地・水・環境事業の進捗状況はどうなっているのか。

◆鳥獣被害について。イノシシ被害が深刻だ。田を掘って土砂崩れのおそれさえある。効果のある対策をしてほしい。
◆佐賀市水道局と他の水道企業団との合併はできないのか。

◆カラス対策はどのように話し合われているのか。

◆ごみ焼却は今後一本化してほしい。

◆川副と東与賀地区のごみ焼却場に関しても将来的には高木瀬の焼却炉に統合されると聞いている。剪定くず等は一旦にそろえて切りこんで持ち込まねばならないが、遠すぎる。丸目には持ち込めないのか。

◆農業集落排水事業の接続率を高めるといいうが、経済的に困窮している人がふえている中で、接続率を高めるには、助成制度も考えないといけないのでは。
◆一部には下水道が来ない地区があると言われたが、どうなっているのか。
◆医大通りが拡幅されたが、相変わらず混雑している。医大東側の都市計画道路が廃止になったようだが、ほ場整備の中で

の道路計画があると聞いている。どうなっているのか。

◆川上・池上地区に佐賀・唐津間の高規格道路の計画がなされているが、整備された農地が分断される等の問題がある。市としても対応を検討してほしい。

◆今年七月から、公共下水道使用料が、平均一・二％引き上げられるということだが、接続率に影響が出てくるのではないかとと思う。佐賀市で下水道は来ているのにつながらない未加入者は何％あるのか。

◆その他、道路維持管理、洪水対策などに対するご意見がありました。

議会関係

◆市長や市議が地域に向き話を聞いてもらうという報告会は大変良いことだ。

◆参加者が少ないことを反省してほしい。もっとPRしてほしい。

◆合併したが、人口減少の中で市議会議員の定数を減らしていくべきではないか。

◆議会報告会に町内出身議員がいらないのはどうしてか。地元議員がいたほうがわかりやすいし、言いやすい。

◆かえって地元議員でないほうが、多くの議員に知ってもらおうという点でいいのではないか。

◆本当に地域の人の話を聞いてほしい。このような会も年に二、三回積み重ねると、参加者も多くなると思う。

◆本来、政策等については執行部が説明すべきであり、議員は市民の意見を聞くことにより住民サービスを高めるべきである。

◆時代の流れとともに、議員は大変な仕事になってきたと思う。今後は限られた予算、人材で議会運営をする時代となり、行政を指導する力を議員が身につけることが必要だ。先進地等を調査し佐賀市に合うようなものは取り入れるべきで、大いに勉強して頂きたいと思う。

◆陳情・請願について地域住民の負託にこたえる努力がなされていないのではないか。

◆報告会の時間配分で説明時間が長すぎる。市民との意見交換の時間ももっと長くするべきだ。

今後の議会報告会について

今回の報告会は、佐賀市議会基本条例制定後、初めての開催ということもあり、議員自体も慣れであったために、市民の皆様への周知方法や会場設定、あるいは時間設定において、必ずしも十分に行き届かなかったことが多かったと思います。今回の開催結果を十分に



城南中学校でのようす（5月17日）

検討し、次回以降の開催に生かしていきたいと思っております。
佐賀市議会は開かれた議会を目指し、市民の方々とともに、未来に誇れる佐賀市をつくり上げていきます。なお、紙面スペース都合上、すべての意見を掲載することができませんでしたが、その他の皆様から寄せいただきました意見はホームページに公開しておりますので、そちらも御覧ください。